

令和 5年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	570 地域公共交通計画進行管理業務（旧：地域公共交通網形成計画進行管理業務）									
予算科目	01-080401-15 公共交通対策に要する経費					担当部課	都市計画部総合交通政策課			
市長公約						係名	政策係			
戦略プラン						新規・継続	継続			
						事業分類	自治事務（義務）			
						事業体制	一部委託			
個別計画	つくば市地域公共交通計画(令和3年3月策定)					事業期間	期間限定複数年度			
根拠法令等	地域公共交通の活性化及び再生に関する法律 交通対策基本法					SDGs	11住み続けられるまちづくりを			

事業の概要

対象	市民、市内に在住・在勤・在学する者、来訪者等
目的	利便性が高く、持続可能な公共交通網の実現を図るため、策定した「つくば市地域公共交通計画」の進捗管理を行う。
概要 (取組内容)	つくば市地域公共交通計画に掲げられた基本理念「様々なデータや新技術で、人と人、まちとまちが“つながり”、未来へと“つながる”地域公共交通を目指して」と4つの基本方針に基づき14の指標を設定した。この指標の評価点検を実施し、国土交通省への報告を行う。なお、本計画の施策については、つくば市公共交通活性化協議会における審議案件となる。

コストの推移

項目			令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
事業費	予算額	(千円)	735	8,809	8,976	13,827	23,848	
	決算額	(千円)	731	7,920	8,943	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	731	7,920	8,943	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	4,623	5,974	6,375	6,047	6,047	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.60	0.80	0.80	0.80	0.80
		正職員時間外勤務	(時間)	214.83	214.83	350.00	214.83	214.83
		会計年度任用職員有無	(一)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	—
企画・立案、計画	つくば市公共交通活性化協議会（市民代表として、各地区代表区長が出席）にて審議。
実行	—
評価、検証	一般市民向け及び各種交通に関する施策利用者向けアンケートで、公共交通に関する意向調査を実施。つくば市公共交通活性化協議会にて審議。

指標の推移

1	指標名	指標 9 項目の達成割合 (%)					成果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	55.5	44.4	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要	地域公共交通網形成計画の関連指標 9 項目の達成割合（R02年度で計画は終了）					

2	指標名	指標 1 4 項目の達成割合 (%)					成果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	実績	0.0	0.0	0.0	14.2	14.2	0.0
	指標の概要	つくば市地域公共交通計画の関連指標14項目の達成割合（R03年度は計画初年度のため評価実績なし）					
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		令和5年度の公共交通政策点検・評価業務を委託事業として実施した。
成果		つくば市地域公共交通計画に定めた14の指標のうち2項目（MM実施対象者数、広域連携バス路線数）を達成（14.2％）。また、フィーダー補助の記載追記によるつくば市地域公共交通計画の改正及びつくタクのAIオンデマンドシステム導入に向けた具体化検討を実施。
課題	業務	全国的なバス運転士不足に伴い、令和6年度からつくバス的大幅減便の対応を実施したが、路線バスにおいても減便や一部廃線などの対応が実施されており、持続可能な公共交通網を再構築する必要がある。
	組織、予算等	—
改善目標		本事業を次年度も継続し、指標を達成させるための各セ策を実現させるとともに、指標の達成状況を点検・評価する。

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	拡大・拡充
理由	全国的なバス運転士不足に対応するため、持続可能な公共交通網の構築に向けた対策及び次期交通計画の策定に取り組む。

令和 5年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	571 つくばエクスプレス利便性向上事業										
予算科目	01-080411-13		つくばエクスプレス利用促進に要する					担当部課	都市計画部総合交通政策課		
市長公約									係名	政策係	
戦略プラン										新規・継続	継続
										事業分類	自治事務（任意）
										事業体制	職員のみ
個別計画									事業期間	毎年度	
根拠法令等									SDGs	11住み続けられるまちづくりを	

事業の概要

対象	市民、市内に在住・在勤・在学する者、来訪者等									
目的	つくばエクスプレス利用者の利便性を向上させる。									
概要 (取組内容)	沿線区市と連携し、つくばエクスプレス利便性向上のための要望活動や勉強会等を行う。									

コストの推移

項目			令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
事業費	予算額	(千円)	158	158	158	369	158	
	決算額	(千円)	113	124	153	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	113	124	153	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	706	703	1,176	713	713	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
		正職員時間外勤務	(時間)	9.00	9.00	200.00	9.00	9.00
		会計年度任用職員有無	(一)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	—									
企画・立案、計画	—									
実行	—									
評価、検証	—									

指標の推移

1	指標名	つくばエクスプレス4駅の1日平均利用者数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	34,300.0	21,000.0	24,800.0	30,200.0	33,700.0	0.0
	指標の概要	4駅（つくば駅、研究学園駅、万博記念公園駅、みどりの駅）の1日平均利用者数					

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		東京駅延伸、その他利便性向上策への要望活動
成果		・市が参画するつくばエクスプレス沿線7市区首長懇談会から首都圏新都市鉄道株式会社に対して「東京駅延伸等に係る要望書」を提出 ・都心・臨海地下鉄新線推進大会2023に出席 ・つくばエクスプレス4駅の1日平均利用者数は33,600人
課題	業務	令和7年のTX20周年に向けたイメージアップ事業の検討を行う。
	組織、予算等	—
改善目標		沿線自治体による利用促進PR活動の実施

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	拡大・拡充
理由	茨城県つくばエクスプレス三市推進協議会の解散に伴う負担金の払戻しにともない拡充。

令和 5年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	016 路線バス実証実験事業									
予算科目	01-080401-15 公共交通対策に要する経費					担当部課	都市計画部総合交通政策課			
市長公約	61-1		61-2				係名	政策係、管理係		
戦略プラン	Ⅱ-5	1	1	路線バス実証実験事業			新規・継続	継続		
							事業分類	自治事務（任意）		
							事業体制	一部委託		
個別計画	つくば市地域公共交通計画（令和3年3月策定）						事業期間	期間限定複数年度		
根拠法令等							SDGs	11住み続けられるまちづくりを		

事業の概要

対象	市民、市内に在住・在勤・在学する者、来訪者等
目的	事業者が収益の見込みがあると判断しているが、実施に踏み込めない路線について、市が、実証実験事業として、事業が軌道に乗るまでの一時金及び運用費を負担する（R04年度から）。
概要 （取組内容）	関鉄パープルバス石下・土浦線経路変更：関鉄パープルバス石下・土浦線について、「西平塚」経由を「学園の森」経由に変更することで、学園の森2丁目・3丁目地区住民のつくばセンター方面への移動手段を確保する。 関東鉄道松代南循環新設：宅地造成が進む「松代五丁目」を対象とした新規路線を運行することで、松代五丁目やバス空白地域の移動手段を確保する。

コストの推移

項目			令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
事業費	予算額	(千円)	45,618	7,561	21,588	16,641	10,242	
	決算額	(千円)	34,101	0	12,573	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	34,101	0	12,573	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	2,169	2,163	2,191	2,191	2,191	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30
		正職員時間外勤務	(時間)	48.75	48.75	48.75	48.75	48.75
		会計年度任用職員有無	(一)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	—
企画・立案、計画	つくば市公共交通活性化協議会（市民代表として、各地区代表区長が出席）にて審議。
実行	—
評価、検証	つくば市公共交通活性化協議会にて審議。

指標の推移

1	指標名	路線バス運賃補填実証実験事業の利用者数（人）					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	53,436.0	53,436.0	53,436.0	0.0	0.0	0.0
	実績	79,236.0	58,469.0	64,951.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要	（Ⅱ-5-①まちづくりを支える公共交通ネットワークの構築）運賃補填事業の対象便及び対象区間をICカードで利用した者の人数（R03年度末で終了）					

2	指標名	路線バス増便実証実験事業の利用者数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	11,967.0	11,967.0	11,967.0	0.0	0.0	0.0
	実績	11,960.0	10,319.0	12,170.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要	日中時間帯に増便した野田団地線（つくばセンター⇄土浦駅※上ノ室経由）の利用者数（R03年度末で終了）					
3	指標名	路線バス運行実証実験事業の利用者数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	16,276.0	16,276.0	16,276.0	0.0	0.0	0.0
	実績	27,075.0	21,825.0	26,218.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要	「富士見台」と「牛久駅」間を運行する新規路線バスの利用者数（R03年度末で終了）					
4	指標名	石下・土浦線の1日当たり利用者数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	4.0	4.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	4.8	4.9	0.0
	指標の概要	石下・土浦線新設バス停の1日当たり利用者数（R04年度初から運行開始R05年度末終了） 目標値達成したため、R06年度以降は民間事業者が継続運行予定。					
5	指標名	松代南循環の利用者数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	50,232.0	100,188.0	99,912.0
	実績	0.0	0.0	0.0	14,212.0	42,034.0	0.0
	指標の概要	松代南循環の年間利用者数（R04年10月から運行開始） 1日23便、運賃単価210円で試算					

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		松代南循環路線バスの利用促進事業として、広報つくば2月号に折込チラシを作成し、路線バス運行エリア周辺世帯への配布を実施。
成果		石下・土浦線経路変更については、目標値4.0人を達成しているため、令和6年度から民間事業者が継続運行。 松代南循環の利用者数は42,034人で、1便当たりの平均利用人数は4.9人であり、損益分岐点となる利用者数14人を下回っている。
課題	業務	松代南循環が利用されていないため、利用促進及び事業継続の可否について検討する必要がある。
	組織、予算等	—
改善目標		松代南循環の利用促進をする必要がある。

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	2	事務事業の統合、縮小を検討する必要がある。

方向性

方向性	縮小
理由	石下・土浦線経路変更実証実験の終了に伴い縮小

令和 5年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	568 コミュニティバス「つくバス」運行事業											
予算科目	01-080401-15 公共交通対策に要する経費					担当部課	都市計画部総合交通政策課					
市長公約	61-1		61-2				係名	管理係・政策係				
戦略プラン	Ⅱ-5	1	2	コミュニティバス「つくバス」運行事業			新規・継続	継続				
							事業分類	自治事務（任意）				
							事業体制	一部委託				
個別計画							事業期間	毎年度				
							SDGs	11住み続けられるまちづくりを				
根拠法令等												

事業の概要

対象	市民、市内に在住・在勤・在学する者、来訪者等
目的	市内公共交通網の幹線として、路線バスを補完し、市内各地の核となる拠点と鉄道駅を結ぶ、都市内交通としての役割を担う。
概要 (取組内容)	10路線において、一日317便、年間365日コミュニティバスを運行する。 つくバス運行に伴う諸問題を解消するとともに、利用促進に向けた取組みを行う。

コストの推移

項目			令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
事業費	予算額	(千円)	372, 552	411, 846	374, 780	333, 874	361, 830	
	決算額	(千円)	342, 640	350, 971	316, 024	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	342, 640	350, 971	316, 024	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	11, 026	12, 351	12, 524	12, 524	12, 524	
	内訳	正職員従事割合	(人)	1. 60	1. 80	1. 80	1. 80	1. 80
		正職員時間外勤務	(時間)	37. 75	37. 75	37. 75	37. 75	37. 75
		会計年度任用職員有無	(一) 有	有	有	有	有	無

市民参加の取組状況

共有、理解	出前講座で利用方法説明。
企画・立案、計画	つくば市公共交通活性化協議会（市民代表として、各地区代表区長が出席）にて審議。
実行	—
評価、検証	つくば市公共交通活性化協議会にて審議

指標の推移

1	指標名	コミュニティバス利用者数（人/年）					成果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	1, 000, 000. 0	1, 010, 000. 0	1, 020, 000. 0	1, 030, 000. 0	1, 040, 000. 0	1, 053, 000. 0
	実績	994, 202. 0	646, 036. 0	738, 118. 0	981, 786. 0	1, 132, 827. 0	0. 0
	指標の概要	（Ⅱ-5-①まちづくりを支える公共交通ネットワークの構築）コミュニティバス「つくバス」の利用者数（全路線累計）※目標値は令和元年度から設定					

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		停留所や時刻表の見直しを行い利便性向上に努めた。
成果		区会要望等に基づき停留所の増設や、地区から離れている停留所の見直しや運行コースの改正を実施。令和5年度の利用者は過去最高の1,132,827人となった（前年度比151,041人増加）。
課題	業務	全国的なバス運転士不足であり、公共交通網の見直しが必要である。
	組織、予算等	
改善目標		つくば市公共交通活性化協議会の協議を通じて、ルートや時刻表の見直し等利便性向上策について進める。

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	3	やや遅れたが、今年度の事業計画は達成された。
市の関与	3	民間活力や民間ノウハウを活用できる事業である。
優先度	5	戦略プラン等に掲げられた市の重点事業であり、優先的に取り組む必要性が高い。

方向性

方向性	縮小
理由	全国的なバス運転士不足のため、つくバスについても減便対応せざるを得ない状況であり、それにともなう事業費縮小

令和 5年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	569 デマンド型交通「つくタク」運行事業									
予算科目	01-080401-15 公共交通対策に要する経費					担当部課	都市計画部総合交通政策課			
市長公約	61-1					係名	管理係・政策係			
戦略プラン	Ⅱ-5	1	3	デマンド型交通「つくタク」運行事業			新規・継続	継続		
							事業分類	自治事務（任意）		
							事業体制	一部委託		
個別計画						事業期間	毎年度			
根拠法令等						SDGs	11住み続けられるまちづくりを			

事業の概要

対象	市民、市内に在住・在勤・在学する者、来訪者等									
目的	バスへの接続及び交通弱者をはじめとする市民の日常生活を支える交通手段の確保。									
概要 (取組内容)	市内公共交通網の支線として幹線である路線バス等を補完する。 5 地区（筑波、大穂・豊里、桜、谷田部、荃崎）において、平日（年末年始を除く）9 時～16 時台にデマンド型交通を運行する。									

コストの推移

項目			令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
事業費	予算額	(千円)	150, 243	147, 804	153, 025	158, 772	158, 371	
	決算額	(千円)	146, 723	147, 804	153, 025	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	146, 723	147, 804	153, 025	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	5, 580	8, 285	8, 401	8, 401	8, 401	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0. 80	1. 20	1. 20	1. 20	1. 20
		正職員時間外勤務	(時間)	46. 25	46. 25	46. 25	46. 25	46. 25
		会計年度任用職員有無	(一) 有	有	有	有	有	無

市民参加の取組状況

共有、理解	出前講座で利用方法説明。
企画・立案、計画	つくば市公共交通活性化協議会（市民代表として、各地区代表区長が出席）にて審議。
実行	—
評価、検証	つくば市公共交通活性化協議会にて審議。

指標の推移

1	指標名	デマンド型交通利用者数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	56,000.0	56,000.0	56,000.0	56,000.0	56,000.0	56,000.0
	実績	53,887.0	41,071.0	44,380.0	48,789.0	48,552.0	0.0
	指標の概要	(Ⅱ-5-①まちづくりを支える公共交通ネットワークの構築) デマンド型交通「つくタク」の年間利用者数 ※目標値はつくば市地域公共交通計画から設定					

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		つくたくに予約の上限設定を開始し、予約状況の改善に着手。また、A I オンデマンドシステム導入に向け、つくたく車両 1 台を活用し実証実験を実施した。
成果		令和 5 年度の利用者数は48,552人となっており、前年比237人減少となっている。また、荃崎地区でつくたく車両 1 台を活用し、A I オンデマンドシステムを搭載し12月から 2 月末まで運行し、384人利用。新たな利用者層の獲得につながっている。
課題	業務	財政負担が高いため、運賃の値上げや、時間便制を廃止し回転率を上げることで改善する必要がある。
	組織、予算等	収支で、事業に対する市の財政負担率が高い状況が課題である。
改善目標		財政負担率の改善を図るため、料金設定の見直しやA I オンデマンドシステムの導入について進める。

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	—

令和 5年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	015 支線型交通運行事業（旧：支線型バス実証実験事業）									
予算科目	01-080401-15		公共交通対策に要する経費					担当部課	都市計画部総合交通政策課	
市長公約	61-1							係名	政策係、管理係	
戦略プラン	Ⅱ-5	1	4	支線型バス実証実験事業					新規・継続	継続
									事業分類	自治事務（任意）
									事業体制	一部委託
個別計画	つくば市地域公共交通計画（令和3年3月策定）							事業期間	期間限定複数年度	
根拠法令等								SDGs	11住み続けられるまちづくりを	

事業の概要

対象	市民、市内に在住・在勤・在学する者、来訪者等									
目的	筑波地区の既成市街地である北条と周辺地区の集積エリアを結び、日常生活に必要な地域の移動を担う支線交通として運行する。									
概要 （取組内容）	コース：筑波ふれあいの里入口～筑波中央病院 運行時間：概ね8時から18時まで（12/29～1/3を除く毎日運行） 運賃：200円均一 車両：10人乗りワゴン車2台 運行便数：1日16便（3/1～11/30のみ1日17便に増便）									

コストの推移

項目			令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
事業費	予算額	(千円)	62, 125	48, 932	29, 011	26, 905	25, 253	
	決算額	(千円)	61, 751	12, 959	26, 278	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	61, 751	12, 959	26, 278	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	7, 088	5, 022	5, 088	5, 088	5, 088	
	内訳	正職員従事割合	(人)	1. 00	0. 70	0. 70	0. 70	0. 70
		正職員時間外勤務	(時間)	104. 25	104. 25	104. 25	104. 25	104. 25
		会計年度任用職員有無	(一) 有	有	有	有	有	無

市民参加の取組状況

共有、理解	—
企画・立案、計画	筑波地区沿線区長との意見交換会を実施。 つくば市公共交通活性化協議会（市民代表として、各地区代表区長が出席）にて審議。
実行	—
評価、検証	筑波地区沿線区長との意見交換会を実施。 つくば市公共交通活性化協議会にて審議。

指標の推移

1	指標名	年間利用者数（人）					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	15,840.0	15,840.0	15,840.0	0.0	0.0	0.0
	実績	5,749.0	4,662.0	4,976.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要	（Ⅱ-5-①まちづくりを支える公共交通ネットワークの構築）「支線型バス（実証実験）」の年間利用者数（R03年度末で実証実験は終了）					

2	指標名	年間利用者数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	2,816.0	5,760.0	5,744.0
	実績	0.0	0.0	0.0	2,469.0	6,138.0	0.0
	指標の概要	(Ⅱ-5-①まちづくりを支える公共交通ネットワークの構築)「支線型バス(本格運行)」の年間利用者数(R04年10月から運行開始)					
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		時刻表の見直しや増便改正など、利便性向上に努めた。
成果		令和5年度の利用者数は6,138人。1便当たりの利用者数は1.05人。
課題	業務	1便当たり1人以上の乗車を、事業継続の目標としているため、事業が継続できるよう業務改善や利用状況を地域住民と共有し運行していく必要がある。
	組織、予算等	財政負担率が非常に高い状況であり、1便当たり1人以上の乗車をしてもらえることで、国の補助金を活用できるため、地域と協力して取り組んでいく必要がある。
改善目標		補助申請できるよう、1便当たり利用者数1人以上乗車できるよう取り組む。

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	—

令和 5年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	043 MaaS等の活用検討									
予算科目	01- - 一般会計					担当部課 係名	都市計画部総合交通政策課 政策係			
市長公約										
戦略プラン	Ⅱ-5	1	5	MaaS等の移動サービスを活用したモビリティ			新規・継続	新規		
							事業分類	自治事務（任意）		
							事業体制	職員のみ		
個別計画						事業期間	毎年度			
						SDGs	11住み続けられるまちづくりを			
根拠法令等										

事業の概要

対象	市民、市内に在住・在勤・在学する者、来訪者等									
目的	公共交通の利用促進を図るため、多彩な交通手段を予約から決済まで可能なM a a S等の活用を検討する。									
概要 (取組内容)	民間企業が構築を進めているMaaSのプラットフォームを研究し、連携を検討する。また、既存の経路検索サイトへつくバス時刻等のオープンデータを積極的に提供する。									

コストの推移

項目			令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
事業費	予算額	(千円)	0	0	0	0	0
	決算額	(千円)	0	0	0	0	0
	内訳	一般財源	(千円)	0	0	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	684	681	691	691	691
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.10	0.10	0.10	0.10
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	0.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(一)	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	—
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	—

指標の推移

1	指標名	経路検索サイトへのデータ提供数 (社)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0
	実績	3.0	2.0	4.0	5.0	5.0	0.0
	指標の概要	(Ⅱ-5-①まちづくりを支える公共交通ネットワークの構築) NAVITIME等の経路検索サイトへのデータ提供数					

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		つくばスーパーサイエンスシティ構想と連携した事業として、つくすマアプリを活用した。
成果		- つくすマ版「高齢者運賃割引証」の登録開始 - つくすマアプリ上に、公共交通の情報を適宜更新し公開。GTFSデータリポジトリサイトにつくバス及びつくばね号のGTFSデータを公開。 - JR東日本の「ひたちのくに紀行」Webサイト上で、つくバス1日乗車券の販売開始。
課題	業務	—
	組織、予算等	スマートシティ協議会との連携強化
改善目標		スマートシティ協議会の会議体に参加し、MaaSに関する事業の推進をする。

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	3	やや遅れたが、今年度の事業計画は達成された。
市の関与	3	民間活力や民間ノウハウを活用できる事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	—